

2024 年度 秋季大会の開催について
シンポジウム―「北海道農業における情報利用の支援状況とスマート農業の普及に向けた課題」

下記のとおり開催を予定しております。奮ってご参加ください。

記

開催日時：2024 年 9 月 12 日（木）13：00～17：00

9 月 13 日（金） 8：30～13：00

開催地：北海道帯広市

主催：日本農作業学会

共催：農業食料工学会北海道ブロック、北海道農業機械工業会

事務局：〒 082-0081 北海道河西郡芽室町新生南 9-4

農研機構 北海道農業研究センター 芽室研究拠点

担当者名 辻 博之

TEL：0155-62-2721（代表） E-mail：meeting@jsfwr.org

大会委員会：辻 博之（大会委員長，農研機構 北海道農業研究センター）

土屋史紀（農研機構 北海道農業研究センター）

馬淵富美子（北海道立農業大学校）

佐藤禎稔（帯広畜産大学）

開催趣旨：北海道では他の地域に先駆けて自動操舵やガイダンス機能の利用が普及したが、これに比べて、可変施肥や可変散布などの他のスマート農業技術の普及は緩やかである。本シンポジウムでは、スマート農業を早期に導入した生産者の取り組みや生産者による情報システムの活用状況などを紹介し、情報を利用したスマート農業技術の方向性について議論する。

<シンポジウム>

日時：2024 年 9 月 12 日（木）13:00 ～ 17:00（開場：12:30）

会場：十勝プラザ 視聴覚室

〒 080-0014 帯広市西 4 条南 13 丁目 1

<https://okamotopbc.jp/tokachi-plaza/>

午前中に開催される北海道農業機械工業会主催のイベントから引き続きご参加いただく場合、別途参加費（共催者）が必要となります。

テーマ：北海道農業における情報利用の支援状況とスマート農業の普及に向けた課題

話題提供：

<基調講演>

北海道におけるスマート農業の状況とブレークスルーに必要なこと

帯広畜産大学 佐藤禎稔

<講演>

十勝におけるスマート農業技術の普及状況

北海道立農業大学校 馬淵富美子

生産者の情報リテラシーの平準化：TAF システムの開発と利用状況

十勝農業協同組合連合会 前塚研二

先端農家は何を求めて農業の情報化をすすめる、これから何をしようとするのか（

農研機構 佐藤正衛

北海道における衛星情報の活用状況

スペースアグリ（株） 瀬下 隆

※講演タイトル、講演者は変更される場合があります。

総合討議 司会 辻 博之（農研機構北海道農業研究センター）

スマート農業の普及に向けた課題解決について参加者全員による討論を行います。

情報交換会：

シンポジウム終了後 情報交換会（帯広駅周辺、2時間程度）

<現地見学会>

日 時：2024年9月13日（金）8:30～13:00

見学場所：東洋農機株式会社の見学および生産者圃場（帯広市内）

集合場所：とかちプラザ前

バスで見学場所へ移動します。自家用車での参加はご遠慮ください。

8:30 とかちプラザ前出発

9:00～ 東洋農機株式会社見学

10:00 バス移動

10:30 生産者圃場の見学

13:00 JR 帯広駅 到着・解散

<参加定員>

シンポジウム：100名

現地見学会：40名

<申し込み方法>

学会ホームページ（<https://jsfwr.org/>）から、参加申し込みフォームに必要事項を記入して送信してください（6月下旬開始予定）、申し込みの締め切りは8月9日（金）の予定です。

<参加費>（予定）

①シンポジウム 講演要旨代 会員・共催団体メンバー 2000円、非会員 3000円

②現地検討会バス代 3000円

③情報交換会 5000円

- ・参加費は当日、受付でお支払い下さい。
- ・領収書の宛名に指定等がある場合は事前にメールで事務局に連絡して下さい。こちらでは①②③毎に宛名をご所属、お名前としてそれぞれ発行する予定です。
- ・なお、上記の参加費につきまして、日本農作業学会は非営利団体として免税事業者となっております。よって、「課税」、「非課税」、「不課税」には該当せず、消費税は発生しません。また、適格請求書（インボイス）を発行できる適格請求書発行事業者ではありません。

<交通案内>シンポジウム会場および見学集合場所

シンポジウム会場：とかちプラザ（JR 帯広駅南口前（南口から徒歩2分））

見学集合場所：とかちプラザ前（当日は案内の者が待機します）

<宿泊>

宿泊につきましては、各自でお手配頂きますようお願いいたします。